

大学の経営戦略を支えるコアファシリティの統合的整備モデル

(実施機関) 金沢大学 (協力機関) 富山大学・福井大学・金沢医科大学・石川県工業試験場・石川県警察科捜研



1. 5年後の「達成目標」、達成されたときの「姿」

研究基盤統括本部を中心とした
研究設備の全学共用体制への再編

- 研究基盤を担う学内施設・共用設備・人的資源の一元化
- 最先端計測設備の共用化促進、技術職員とURAの高度化
- 北陸地域のコアとして設備・技術人材のネットワークを構築
- 多年度積立システムを基軸とした自立的な財政基盤の整備
- 学問・産学・地域の3つの融合を機動的に動かす体制を確立

2. これまでの取組と解決すべき「課題」(ボトルネック)

若手研究者の育成・支援

テニユアトラック制度導入・スタートアップ研究費配分(H23-)
リサーチフェッサー制度若手型導入(H26-)

設備共用運営体制の構築・強化

設備共用センター整備事業(H23-25)
新たな共用システム導入支援プログラム(H29-31)

現状

- 優秀な若手研究者の増加
- 国際的新分野創成・融合研究創出のための基盤の構築

URA導入・活用/研究支援機能強化

全国に先駆けてURAを配置(H19-)
「総合技術部」創設(H29)

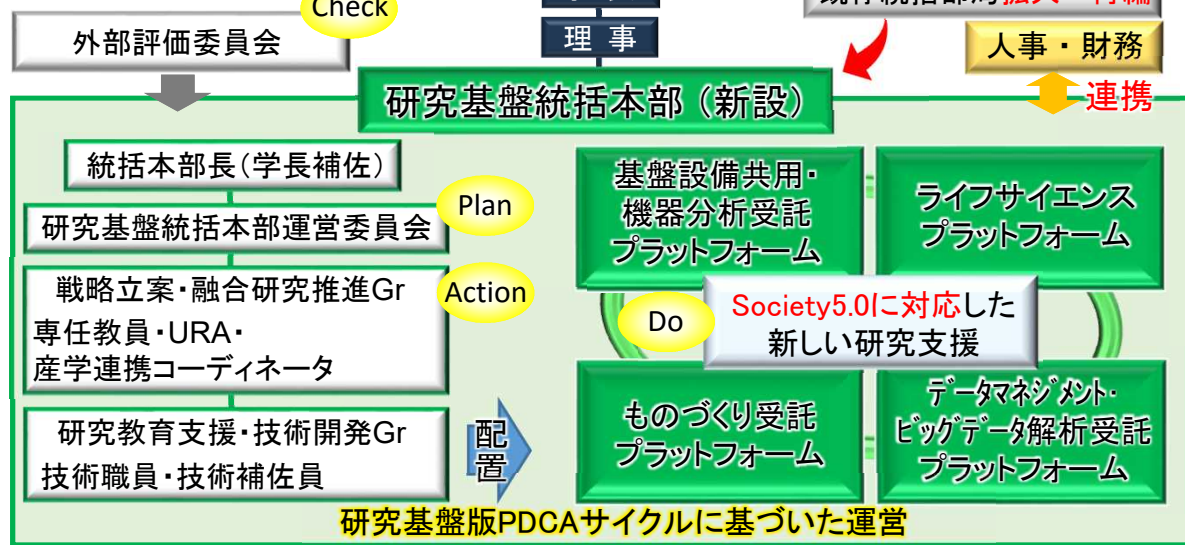
研究グループの組織化

「新学術創成研究機構」創設(H27)
「ナノ生命科学研究所」創設(H29)

課題

研究設備に関する地域ネットワークとアクセス、
研究基盤の戦略的・効率的運用、経営戦略型人材の育成

■ 運営体制



3. 目標達成に向けて、どう「戦略」で取り組むのか

エビデンスに基づく立案・導入・更新システム

設備共同利用
オンラインシステムの活用

世界水準をターゲットとした卓越技術職員エバンジェリストの育成

先端計測を先鋭化したWPI拠点と連携

年功序列給から能力重視給への質的転換

人事と連携
技術職員・URAが切磋琢磨する環境整備

産学/産産協創オープン技術ラボ

本学と企業の技術者が集う交流・研鑽の場

7つの特色ある取組 全国へ展開/ノウハウ共有

目的積立金を活用した多年度繰越システム
財務と連携

自立的な機器メンテナンス

産学官金コンソーシアムとの連携と資金運用

北陸銀行・北陸経済連合会・本学企業協力会

北陸ファシリティ・技術人材ネットワーク

研究設備、人材の公開・共有、技術伝承、収益化

■ 本事業の工程表

事業計画	R2	R3	R4	R5	R6
研究基盤統括本部	設置	運営			
設備共同利用オンラインシステム	拡張	改修・運営			
測定データ・管理・共有・公開基盤	構築	運営			
技術人材育成プログラム	構築		運営・人材育成		
次世代経営戦略型人材育成プログラム	構築		運営・人材育成		
能力重視型評価制度	構築			運営	
マイスター/エバンジェリスト認定制度	構築			認定	
産学/産産協創オープン技術ラボ	設置		運営・利用拡大		
北陸ファシリティ・技術人材ネットワーク	構築	運営	拡大・利用開放		
多年度資金運用システム	構築	運営			
財務マネジメントシステム	構築		運営		